



三月前半は、政府発表の
二月の中国製造業PMI
は五一・六に上昇、予想の
五一・一を上回る。非製造
業PMIは五四・二に低下

民間発表の二月の中国製造業PMIは五一・

七に上昇、予想の五〇・八を上回る。などのブ

ラス材料もあったが、米エネルギー情報局(E

IA)など今週発表された官民の週間在庫統計で、米国内の原油在庫が前の週から急増したことなどが確認され、一時四八・五九ドルと、石油輸出国機構(OPEC)加盟国などが減産で合意した昨年十一月三十日以来の安値を付けたことなど嫌気し、LMEアルミ相場はDOWN。三月十五日時点、八七五ドル(現物後場買い)と月初価格から三四・五ドルDOWNの前半締めとなつた。

後半はドナルド・トランプ政権が成立を目指して、下医療保険制度改革法(オバマケア)の代替法案「アメリカン・ヘルス・ケア・アクト」(AHCA)を撤回したことから、今後の減税、金融規制緩和法案成立への不透明感でたと、米エネルギー情報局(EIA)が二十二日に発表した週間の在庫統計で、前週末時点の原油在庫が市場の予想以上に増え、データの算出が始まつた一九八一年八月以来の最高を更新した。などのマイナス材料もあったが、一月の中国工業部門企業利益が前年比二・五%増の一〇・〇兆円、三月の米消費者信頼感指数は一二五・六と市場予想(一一三・八)を上回り、二〇〇〇年十二月以来、一六年三カ月ぶりの水準まで上昇したことなどを好感し、LMEアルミ相場はUP。四月四日現在LME(現物後場)一・九四四ドルと後半スタート価格から八一・五ドルUPしてのスタートとなつた。

◆月間のドル/円レート(THS)

一・三・七三→一・〇二・八九(円)。

◆自動車生産台数

日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前年比一三・八%増の四六万〇、六五四台。

◆新設住宅着工戸数

国土交通省統計によると、新設住宅着工戸数は前年比二・六%減の七万〇、九二三戸であった。

圧延品、二次合金ともに生産増加

橋本金属 橋本健一郎氏リポート②

橋本金属 橋本健一郎氏

◆貿易関連指標

財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ新地

金が前年比五〇・〇%増の一四六t、二次合金

が一九・九%増の二、三三三t、スクラップが九・

一%減の八、四五t、アルミ缶が五四・二%増

の五、七五五t。

輸入

輸入は新地金が前年比二七・一%増の一三万

八、八三一t、二次合金が一一%増の九万五、

三二八t、スクラップが六・九%増の五四一t、

合金スクラップは三〇・六%増の三、五一七t。

■前月の国内指標

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比

一・二%増の一六万六、七四七t。

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム

二次合金・同合金地金等生産実績は、前年比一%増の六万五、六八四tであった。

■概況

【自動車生産】

二月の四輪車生産台数は八五万二、五二六台で前年同月比一・二%増となり、五カ月連續で前年同月を上回つた。

輸出は三七万五、六五六台で前年同月比一・七%の増加。

【自動車販売】

二月の国内自動車販売台数(軽は除く)は六万〇、六五四台で前年比一・三・八%増と、八カ月連続プラス。

うち乗用車一四・八%増、貨物八%増、バス五%増。

【住宅着工数】

平成二十九年二月の住宅着工戸数は七万〇、九二三戸で、前年同月比一・六%減となつた。また、季節調整済年率換算値では九四・〇万戸(前月比六・一%減)となつた。

・住宅着工の動向については、前年同月比で八カ月ぶりの減少となつており、利用関係別にみると、前年同月比で持家、貸家は増分譲住宅は減となつた。

・引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

(持家)

前年同月比では先月の減少から再びの増加(前年同月比一・六%増、季節調整値の前月比では六・一%増)。(六面へ続く)

スクランブル需給は、新年度入りで引き締まるか

(四面より続く)

(貸家)

前年同月比では一六力月連続の増加(前年同月比六・八%増)、季節調整値の前月比では二・二%増)。

(分譲住宅)

前年同月比では三力月ぶりの減少(前年同月比一七・九%減)、季節調整値の前月比では二・四%減)。

(分譲マンション)

前年同月比では三力月ぶりの減少(前年同月比三五・七%減)。

(分譲一戸建住宅)

前年同月比では一六力月連続の増加(前年同月比〇・九%増)。

(アルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績)

前年比一・〇%増の六万五、六八四tと四力月連続プラス。出荷は二・五%増の六万六、五六一tと二力月ぶりプラス。うち出荷先別では、鋳物六・一%増、ダイカスト一・五%増、板一・七%増、押出三・三%増、鉄鋼一・六%減、合金地金メークー向け二・〇%減。

(アルミニウム圧延・押出品生産数)

一二%増と四力月連続プラスの一六万六、七四七t。

板類は生産が四力月連続でプラスとなつたが、出荷は四力月ぶりにマイナス。押出類は生産・出荷ともに四力月連続でプラス。

(輸入) アルミニ新地金が前年比五〇・〇%増の一四六t、二次合金が一九・九%増の一、三三三t、スクランブルが九・一%減の八、四五t、アルミ缶が五四・二%増の五、七五五t。

(輸出) アルミニ新地金が前年比二七・一%増の一三万八、八三一t、二次合金が一一%増の九万五、二二八t、スクランブルが六・九%増の五四一t、合金スクラップが三〇・六%増の三、五一七t。

(見通し)

自動車は生産が一一・二%増。三月の国内販売台数が前年比二三・八%増。生産が五力月連続プラス、販売も八力月連続プラス。生産、販売共に二ケタ増加しており今後の動向に注目。

・住宅着工の動向については、前年同月比で八力月ぶりの減少となつており、今後の動向に注意が必要。

・アルミニウム二次合金・同合金地金等実績は、生産・出荷ともにプラス。

(輸出) 期末要因のメーカーの買い控えを受けて、スクランブルを除き増加。

(輸入) 自動車の好調をうけて地金、スクラップともに増加。

(スクランブル需給予想)

流通在庫は、いよいよ新年度入り!と言いたいところだが、期末の放出玉もでず相変わらずの品不足が続くのではないか。需要面に関しては、住宅、自動車など生産販売の好調に加え、新年度入りで買いの号令も加わり需給は引きしまるのではないか。

(価格・為替予想)

今月もトランプ米大統領の発言・政策と米中会談後に左右される。

トランプ米大統領に関しては、先のオバマケアの代替法案が議会を通過しなかつたことから、政権運営に不透明感が出てきている事は確か。今後、大幅減税、金融規制緩和などの法案が通過するかどうかに注目。

米中会談は、国境税問題・領土問題があるが、国境税問題などに関してはお互一定の理解を示すものの、領土問題では両者譲らず平行線の議論になるのではないか。それらを踏まえた四月のアルミニ価格は、トランプ米大統領の法案や人事が議会を問題なく通過し、米中会談で新たな摩擦が起きなかつた場合(領土問題の未可決は織り込み済み)、三月一段高の二、一〇〇ドルを予測。いずれかの場合には一、九〇〇ドル。下

値はいずれの条件も達成できなかつた場合、三月後半安値の一、八〇〇ドル。為替は前月に続き米トランプ大統領の上記政策の進展と為替への言及次第。

それらを踏まえ予測は、前記政策が進展した場合、ドル高円安が進むが、為替への言及があれば大幅円高に振れる場合も場合あり、高値は三月後半高値一段高の一、一〇〇円台(TTM)を予測。いずれも行われなかつた場合同安値の一、一四円台を予測。

円高程度と予測している。